

これからの時代を歩むDaigasグループの志

今日の安心をまもり、未来の日常をつくる

大阪ガスは、明治時代中頃の1897年、都市部での火災の減少を目的に、石油ランプに代えて安全で経済的なガス灯照明を普及させることを目指して歩みはじめた。

私たちは、社会や市場に存在することが当たり前の会社では決してなかった。時代や社会の目まぐるしい変化に直面し、その度に、お客さまや社会から進むべき道を学び、進取の気性で新しいことに挑戦し、進化を続けてきた。社会はいま、大きな転換期をむかえている。

エネルギーセキュリティの不安定化や自然災害の甚大化など様々な変化で「今日の安心」が揺らぐ一方、時代の先行きに不透明性が増すなかで、カーボンニュートラルをはじめとした社会課題解決が進む「未来の日常」の実現が求められている。

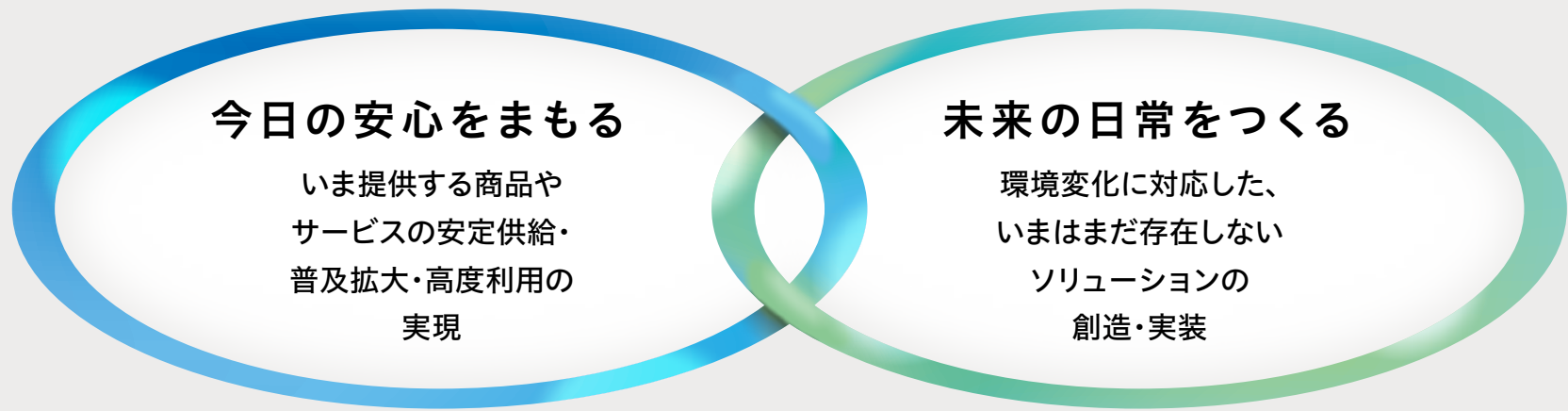
私たちDaigasグループは、足下の変化に対応し、エネルギー・商品・サービスの安定供給や普及拡大を実現するとともに、未来に向けて、カーボンニュートラルやデジタル化、価値観の多様化に応えるソリューションの創造・実装をグローバル大でリードしていく。

これからの道筋は多様で不透明だが、これだけは間違いない。

未来をつくるのは、いまの私たちだ。

ここDaigasグループに集う皆が輝き、これからも使命感と誇りを持ち、「今日の安心をまもり、未来の日常をつくる」ことに挑み続ける。

そうして、ステークホルダーの皆さまから高い共感を寄せられる存在であり続けたい。



現在(トランジション期)の成長ドライバー

天然ガスの高度利用

米国サビン・シェールガス開発

高効率な天然ガス発電

LBS事業での着実な利益成長

将来(カーボンニュートラル社会)の事業構築

e-メタン社会実装に向けた挑戦

再生可能エネルギーの普及拡大